

松平 敬（声、バリトン） MATSUDAIRA Takashi, Voice/Baritone

愛媛県宇和島生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、池辺晋一郎、西村朗、近藤譲、三輪真弘、川島素晴など 150 曲以上の作品を初演する。クセナキス、シュトックハウゼン、カーゲルなど、演奏至難な作品の日本初演も手掛ける。これまでサントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場、国立劇場、コンポージアム（東京オペラシティ財団）、東京・春・音楽祭、Just Composed（横浜みなとみらいホール）などに出演。自主企画公演においては、無伴奏独唱曲ばかりを集めたリサイタル、東京 23 区の区歌・愛唱歌の全曲演奏、音響詩の演奏など、独創的なプログラミングが話題を呼んでいる。CD 録音においても、一人の声の多重録音を駆使した『MONO=POLI』（平成 22 年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞）及び『うたかた』、『エクステンデッド・ヴォイセス』と、個性的なアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義でも 2 枚の CD、『ROTATION』、『双子素数』（『レコード芸術』準特選盤）をリリース。2019 年には、シュトックハウゼンのほぼ全作品を網羅した著書『シュトックハウゼンのすべて』（アルテス・パブリッシング）を出版（第 32 回ミュージックペンクラブ音楽賞）。第 19 回佐治敬三賞受賞。現在、聖徳大学、文教大学、東京大学講師。